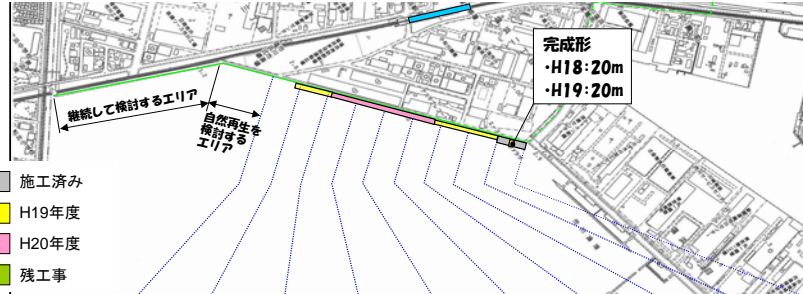


### ③ H20年度工事(素案)

第1案：完成形なし案 ⇒ (捨石、海側H鋼杭)+(陸側H鋼杭・鋼矢板)

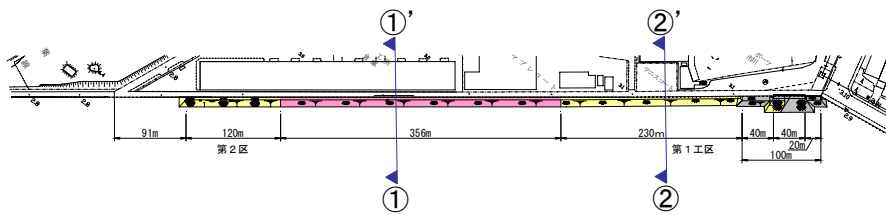


工種・箇所区分	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
海城工事 捨石+H鋼杭(倒壊防止)		120m		356m			230m		100m
海城工事 被覆石(バリエーション)									20m
陸城工事 H鋼杭+鋼矢板(倒壊防止)						370m			80m
陸城工事 被覆石(バリエーション)									20m

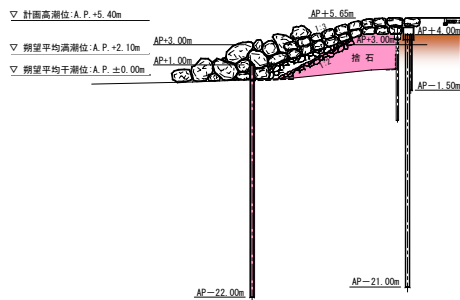
  

メリット		デメリット	
○対象範囲の緊急対応が完了する。	○バリエーションに影響しない工事なので検討時間ができる。	●新基本断面での完成形確認は20mに限られる。	

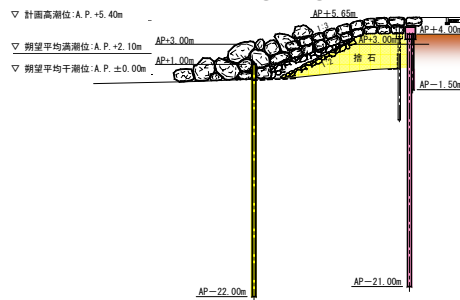
### 第1案：完成形なし案 施工断面図



①-①'断面

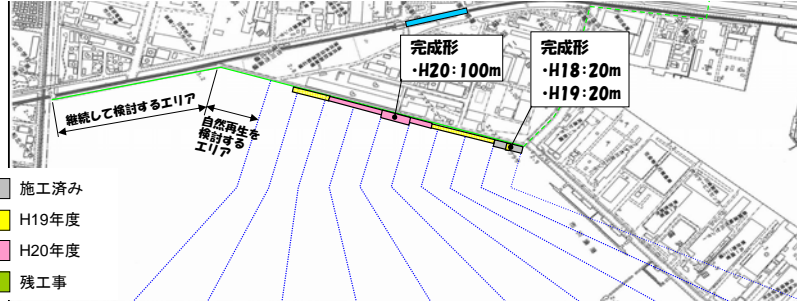


②-②'断面



**第2案：完成形100m案**

⇒ (捨石、海側H鋼杭) + (中央部100m完成形) + (陸側H鋼杭・鋼矢板 260m)



工種・箇所区分	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
海城工事 捨石+H鋼杭 (倒壊防止)		120m		356m			230m		100m
被覆石 (バリエーション)					100m				20m
陸城工事 H鋼杭+鋼矢板 (倒壊防止)					260m				80m
被覆石 (バリエーション)					100m				20m

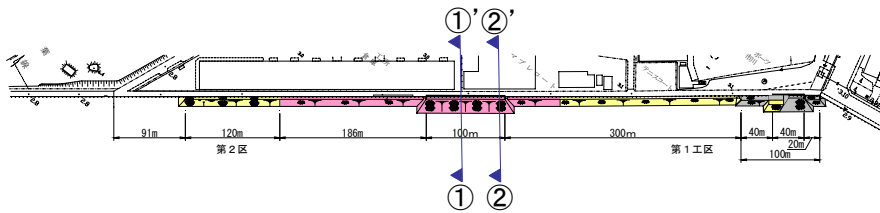
**メリット**

- 対象範囲の緊急対応が完了する。
- 比較的広い範囲での新基本断面が確認できる。

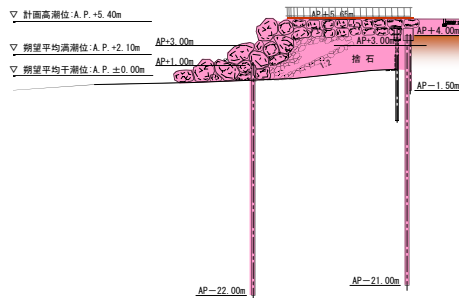
**デメリット**

- 完成形とする範囲のバリエーション検討時間が短い。
- 完成形区間の底質に係わる判定基準値を早急に決める必要がある。
- 台船を使用した海上工事が必要となり、工事費が割高となる。

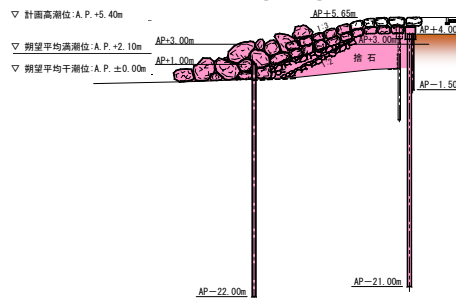
**第2案：完成形100m案 施工断面図**



**①-①'断面 デッキあり**

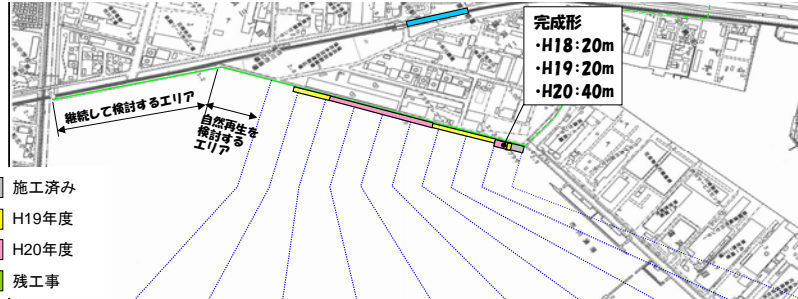


**②-②'断面**



### 第3案：完成形40m案

⇒ (捨石、海側H鋼杭)+(完成形60m)+(陸側H鋼杭・鋼矢板 300m)



工種・箇所区分	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
海域工事 捨石+H鋼杭 (倒壊防止)		120m		35m			230m		100m
陸域工事 H鋼杭+鋼矢板 (倒壊防止)							300m		
被覆石 (バリエーション)								20m 40m	20m 20m
被覆石 (バリエーション)								60m	20m

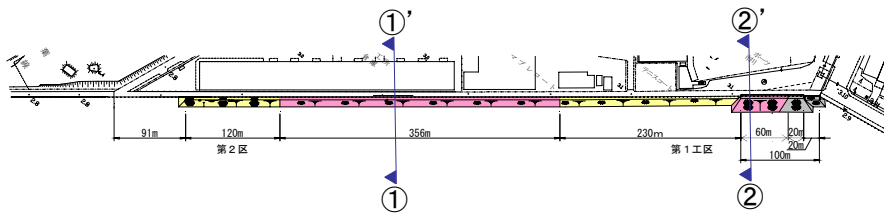
#### メリット

- バリエーションに影響しない箇所の完成形であり、検討時間ができる。
- 対象範囲の緊急対応が完了する。
- 新・旧基本断面が隣り合うことになり、完成形の比較が容易。

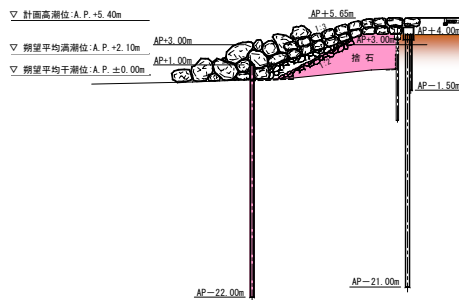
#### デメリット

- 新基本断面での完成形確認区間が短い。

### 第3案：完成形40m案 施工断面図



#### ①-①'断面



#### ②-②'断面

